

平成28年度

第2回 四万十町ケーブルネットワーク放送番組審議会要旨

日 時：平成29年3月22日（金） 午後1時30分～午後3時

場 所：窪川四万十会館 多目的室

出席委員：中町博信、奥宮正洋、中城由美子、居長原信子

欠席委員：和田裕實、澁谷法人、清水美代子

事務局等：企画課：敷地課長、片岡

四万十公社：森 専務理事、大崎 チーフ

■ 会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 企画課長あいさつ
- 4 報告事項
 - 加入状況
 - 放送実績ほか
 - 放送事故・訂正放送報告ほか
 - 出張・研修・会議等の他の報告事項
- 5 自主制作番組視聴
- 6 質疑応答
- 7 閉会

■ 会議結果（要旨）

●報告事項●

1. 加入状況について

2017年3月1日時点 全加入数、インターネット・有料番組等の契約数の内訳を報告

2. 放送実績の報告

●四万十放送室（週1回更新）

今年度（平成28年度）は編成を少し変えました。四万十放送室が45分始まりでしたが、これを0分スタートとしました。1時間の枠の中で①四万十放送室②四万十うおっちゃんぐ③モバイルムービー④行政放送の順番で放送しました。四万十放送室では、概ね4つから5つ、少なくとも3つのネタを放送しています。週2回更新なの1週間で8～10個のネタを放送するというかたちです。

その中でも、355回。2月20日から放送した分ですが、床鍋の四万十コンクリートが県の地場産業大賞を受賞したことを紹介しました。その表彰式は高知市でありましたが、今年度は、四万十町内だけの取材にとどまらず、人のやりくりがいたら町外でも取材に行くということで表彰式の様子を撮影しました。

359回の3月6日から放送した谷干城ミュージカルの出張公演も県の幕末維新博のオープニングで行われるということで、高知市に行き取材をしました。来年度以降も、四万十町の方が遠方でなかなか行けないという場所で活躍している方がいれば、可能な限り取材をしにいくスタイルをとっていきたいと思います。

●四万十うおっちゃんぐの放送内容

前回の番組審議会のあたりから運動会の特集を「うおっちゃんぐ」で流しています。9月から11月の頭まで、各小中学校・高等学校・保育園の運動会を特集で流しています。運動会は各箇所15分ずつに編集して短いバージョンを1週間に2回更新で放送するという流れで、これとは別に土日各箇所1時間程度にまとめた長尺版を放送しました。

運動会の放送が終わった後は、町内の各神社で行われている秋祭りを放送しておりまして、我々が把握しているだけでも50～60か所ありなかなか全部を映すことは難しいのですが、3年から4年に一度のサイクルで神社が紹介できるように予定を組みながら取材をしています。

今年は8か所の取材をしました。これ以外に大きな高岡神社の五社の祭や興津の大祭などはニュース番組などでとりあげていますので、秋祭りはこれ以外も行ってます。記録的な観点で取材したものは8か所です。

以降、年末から年始にかけては成人式の特集や、このあとご覧いただく県があげて取り組んでいるジビエ料理の推進をされている居酒屋さん取材したり特集枠として四万十うおっちゃんぐは放送しました。

現在481回が最後の放送となっています。おかげさまで開局からまもなく500回を迎えようとしています。

●特別番組（生放送番組）

前回の番組審議会でもご報告したとおり、今年度奥四万十博という観光キャンペーンが開かれました。四万十ケーブルテレビでは須崎のよさこいケーブルネットさんと協力体制を強化し、よさこいケーブルネットさん制作の特別番組を放送しました。特に10月に放送したドラゴンカヌー大会は四万十町からも2チーム出場していて優勝されたチームもあり、「次いつ放送」なのかケーブルに問い合わせいただきました。ある一定の評価をいただいたかなと認識しています。

12月の終わりには奥四万十博のクロージングイベントもすべて生放送しました。大正中学校の生のジャズや小中学校の音楽祭などの取材やステージをすべて収録し放送しました。特に小中学校の音楽祭など平日に開催されることからおうちの方が見に行けないというような事情もあり、大変好評いただいています。

●モバイル&ムービー（番組特派員視聴者参加型番組）

従来、投稿番組として続けている番組で投稿数としては前回の番組審議会と変わっていませんが、今スマートフォンの画質も上がっており手軽にとった紅葉の映像などを放送しました。

四万十町だけと限定していないので、石鎚スカイラインの紅葉など地域の方が遊びにいった先の映像などご紹介させていただきました。

番組の特派員から投稿が集まらない週もありますが、引き続き町民が参加できる枠として、多くの人に投稿してくださいと呼びかけを行っていきたいと思います。

●行政放送（週1回更新）

役場の中だけでなく、四万十清流消防署の署員が出て、火災予防や家庭用の火災報知器をつけてくださいといった内容を消防署のなかで、撮影したりと工夫を持たせています。

四万十町教育委員会作成の学びの時間は、前回も報告したとおり委員会で作成し、ケーブルに持参してもらってそのまま流しています。来年度以降も引き続きあるコーナーです。

四万十町の保育所風景、40010 のたからは、窪川地域の子育て支援センターをいれると12の保育所があり、月に一回のペースで保育所を収録し、できるだけ保育園児全員がうつるように心がけています。園の日常の様子をおとどけするコンセプトでやっております。大変好評いただいていますので、来年度以降も保育所と協力しながら続けていきたいと思います。

お達者体操は開局間もない時からずっと流しています。窪川地域のあるグループホームでこれを録画し、DVDにして、定期的に放送の時間以外も楽しんでいただいています。

四万十町議会の定例会・臨時会についてこの日程ですべて生放送と再放送を2回行っています。

高知県議会の生放送もやっていますが、町議会と県議会が重複すると県議会を録画しておいて、町議会を優先して放送した後、県議会を放送しています。

●他局への番組提供

昨年度末に放送の送出の機械がかわり、たくさんの番組を放送できるようになりました。今年度は釣りの番組を新たによさこいケーブルネットさんから提供していただき、高知ケーブルテレビさん制作の「いちにのどっかん」という絵本の読み聞かせなどの幼児向けの番組など、四万十ケーブルテレビで作れてない分野の番組も楽しんでもらおうと積極的に他のケーブルテレビの作成した番組を流しています。

他局への番組コンテンツの提供をして、四万十ケーブルテレビの番組をうちのエリア以外でも楽しんでもらおうという取り組みです。チャンネル700という全国のケーブルテレビの有料チャンネルがついている機械がついているところで四万十うおっちゃんぐを放送しています。

香南ケーブルテレビでは、編成に空きができた時に四万十町のネタを放送してもらっています。

地上波放送局では、NHKのケーブルテレビ直送便コーナーで放送しています。これは3週間に1回のペースで四万十放送室が流したニュースをNHKさんで放送してもらっています。

また今年度、新たにRKCさんからも同様のかたちで放送したいという話をいただいております、県域放送で流れる

ということで、四万十町にきていただけるような告知番組も流せるのではないかとことを快諾し、不定期ではありますが、R K Cの番組内でも、四万十ケーブルテレビが作成したものが流れています。

●文字放送・データ放送

各公共的団体から入力があり、毎日10枚から20枚程度のお知らせを放送しています。4月以降新しいシステムに代わりますので、文字放送のレイアウトの見方が変わってきます。

常時データ放送で文字放送が確認できますので、年度がかわって番組内でお知らせしたいとおもいます。今まで文字放送がある時間帯でしか文字放送がみれなかったんですが、操作方法を覚えていただければ、Dボタンを押すことで24時間いつでも文字放送を確認することができるようになるという予定です。

データ放送について現在有料番組のチャンネル案内や自主放送の内容の予告を出していますが、文字放送同様システムが変わりますので4月以降レイアウトが変わる予定です。

●広告放送 C Mについて

今年度1件町内の事業者より提供をいただいてC M放送をしました。反応としてはその事業者さんにはC M見たよという問い合わせはあったそうですが、ケーブルテレビのほうにはあのC Mどうやって出すが？とか、うちも出したいという話は残念ながら、町内事業者のニーズは広告は高くないのかなという認識しています。

条例でも広告放送できるようになっているので、比較的安価な値段で広告をだせるという媒体であるということ間違いないので引き続き、C M出せますよ、広告を出しませんかというV T Rを作って編成の空き時間に流しいき、広告枠があるということを周知していきたいと思います。

同時に町内の事業者さんもそうですが、町外からもC M出せないかという話も来ています。そういう対応もできるようにしたいと思います。

ただ、町外をすぐ受けるというわけではなく、町内にも事業者はたくさんあるので、こういう広告の仕組みがありますよということを十分に周知したうえで、町外事業者のC Mについての受け入れ方を考えていきたいと思います。

年度初めすぐは事務的な体制も整っていないので難しいですが、次回の番組審議会以降で詳細を報告したいと思います。

3. 訂正放送・放送事故

・訂正放送・放送事故についてはありませんでした。

4. 出張・研修・会議等の報告

10月1日に窪川四万十会館でありました、高円宮妃が来られました星空の街・青空の街の全国大会で、放送とは別になりますが、壇上の人を大きな後ろのLEDスクリーンに映し出すという業務を四万十ケーブルで受けてやらせていただきました。

1 1月26日にはお隣の黒潮町でありました、世界津波サミットを黒潮町さんが黒潮町のケーブルテレビとインターネットへ同時生配信ということで、四万十ケーブルでは中継車を持っていき生中継応援ということで岡野・大崎・森下の3名が現場へ行っております。

県内のケーブルテレビが集まる制作有志会という会への出席や、年に一回NHK高知放送局がケーブルテレビの番組制作担当者向けに開催してくれているNHKのアナウンス研修に参加しました。

●自主制作番組の視聴●

- ①コミュニティ「ジビエ料理特集 居酒屋 笑美」
- ②行政放送 「4月からの文字放送・データ放送について」

●質疑応答●

【委員】文字放送のアプリはどのようにインストールすればよいですか？

⇒端末からアプリをダウンロードできますが、取得の仕方については詳細が分かり次第連絡いたします。主なメインは災害情報などプッシュ通知で確認でき、さらに文字放送の確認などができます。

【委員】番組制作する時に、情報をどうやって得ていますか？

⇒ニュース番組の四万十放送室に関しては、6割から7割が取材に来てもらえないかという依頼があります。残りの3割は広報などに次の月のイベント情報が載っていればそれを拾って入れます。定期的に商工会や観光協会などに次のスケジュールを確認しています。高知新聞の記者にこのイベントに行くか問い合わせたり、各地区に職員が、区長文書などから得た情報など共有できるツールをスマートフォンのアプリなどで利用しています。取材地域が偏らないように、神社の秋祭りに関しては各地区の区長さんの名簿を役場からいただいて、電話をして神輿や花取りがあるなどの情報がある一定蓄積し、地域間のバランスをとって窪川・大正・十和で割り振っています。小・中学校に関しては各学校人数に関わらず同じイベントは同じ長さにしています。他のケーブルテレビでは類似の放送をしているところは人数割りでルール決めしているところもあるので、他のケーブルテレビで例になるような良い時間割をしているところがあればそちらにシフトしていくということも今後ありえます。

ありがたいことに、毎週土曜日に情報が入ってきています。

【委員】現在のスタッフで間に合っていますか？

⇒政策担当は3、5人です。時期によりけりですが、情報があるときはある、ない時はないですが、特に秋の時期は運動会や秋祭りでスタッフの人数で間に合わないときもあります。

【委員】四万十町には窪川高校と四万十高校がありますが、最近では町外の高校に進学し人数が減ってきています。ケーブルテレビとして町内高校のPRをしてはどうですか？

⇒NHKやRKCで放送できるバイパスを持っていますので、四万十ケーブルでも中学生が高校を選択するときに町内の高校を選択してもらえるように取材をしてPRしていきたいと思います。

【委員】町内のイベントの放送が少ない。商工観光課などが力を入れてケーブルでイベント情報を放送すべきだと思う。

⇒積極的に流していきたいと思います。

【委員】スマートフォンのカメラの性能がアップしているので、視聴者からの投稿にちからを入れたらどうか？

⇒投稿枠のコーナーを設けてやっていますが、誰でもカメラマン・記者になるという時代ですので投稿のしやすさなどの工夫をしたいと思います。

【委員】以前、生中継の時などに後援会の看板などがちらっと映っていたので、できるだけ映さないように気を付けたほうがよいのでは。

⇒はっきりとポスターなどがある場合はポスターを見えないようにする角度にして撮影するなど、現場で映さないように努力しています。

【委員】町内のお祭りなどを取材してくれるようになって、埋もれていた文化が復活するきっかけを作っていると思います。四万十町を盛り上げるためこれからも大いに掘り出してほしいと思います。

⇒特に神社関係の映像については、放送するだけでなくそれを後々資産として管理し、歴史的資料として残すため、インデックスをつけ二重にバックアップをしています。

【委員】広告を出す期間の設定は？制作費は？

⇒基本は1日6回の5日間ですが他の番組で放送できない時もあるので、最低30回（5×6）の放送を保証しています。撮影の内容によって調整して見積を出しますが、静止画の1枚ものでしたら30回1万円で、動画放送だと2万円という料金設定ですがそれプラスCMを作る制作料が発生します。CMを出せるということを周知していきたいと思います。

【委員】となりの家のONUを移せないか？

⇒同一敷地内であれば1引き込みでいいのですが、公道を挟んでいるとか他人の家があれば別口での契約が必要となります。他人同士で権利譲渡はできないので、父が亡くなって息子の代という場合はOKです。

●来年度4月以降の番組時間帯の変更について●

以前から番組の時間帯について変更の必要がありましたが、その第一弾として四万十放送室を一番前に持ってくることを今年度やりました。

レギュラー枠については、従来通り1時間の枠の中で流していきます。

現在の四万十放送室と「告知放送」「モバイルムービー」をくっつけて放送します。四万十放送室はニュース番組で、あった出来事を現在、放送していますが情報量が増えて15分の枠の中で収まらずせっかく撮ったインタビューが入り入れられないこともあるため、その幅を広げるためモバイルムービーをくっつけようということになりました。

モバイルムービーは15分が投稿で埋まることが少ないため、比較的調整が付きやすいということと、モバイルムービーを同じ番組で放送することで、投稿の映像から伝わらない部分をアナウンスで補えるのでこの2つをくっつけることにしました。

四万十放送室は現在、月曜木曜の週2回の放送ですが、モバイルムービーは投稿数も少ない中、週2回放送するのは難しいということで、前半の月曜に新たに告知コーナーを設けたいと思っています。

委員さんからも先ほどありましたように、イベント情報が先にほしいという意見をいただきます。まさしくそういったニーズに応えるべく月曜から木曜まで流れる四万十放送室の終わりに週末のイベントやその月のイベントなど流していきたいと思っています。

催しものを開催する団体にスタジオにきて紹介してもらうのがベストだと思いますが、当面の間はケーブルテレビで情報を収集してニュース番組の後に今月はこんな催しがありますよとお伝えしていきたいと思っています。役場や各団体様に情報をいただきたいと思っています。徐々にお知らせコーナーの枠を充実していきたいと考えています。

月曜更新の場合は四万十放送室が流れた後に告知、木曜更新の場合は四万十放送室の後に投稿のモバイルムービーが流れるということできたいと思っています。

四万十うおっちゃんぐは現状維持の15分でおくことになりました。

1つは15分弱の企画番組ということで先ほど、笑美さんの特集を見ていただきましたが、これの進化版ということでロケの回数を増やして、長期間取材をしたものを月に1回入れていきたいと思っています。

現在のような1日2日のロケでやるミニ企画のものは、四万十放送室のニュースの枠の特集コーナーでやって、四万十ウォッチングでは時間をかけて取材・撮影したものを目標にことうと考えています。15分弱の企画番組に力を入れる関係上、毎週、作りこみが出来なくなるので代替案として、空撮の映像（ドローン）と車窓カメラなどを利用して地域に住んでいる人しかいったことのないような国道からはいった集落などへも入って取材をしたいと思っています。

それを月3回やりたいと考えています。5週目がある月に関しては、総集編で過去の4年前の映像など再放送をしたいと思っています。ドローンや4Kカメラをもちいることで、アーカイブで映像をためていくことができるのでそちらに力を入れていきたいと思っています。

行政放送の枠については現状維持で、レイアウトに関しては文字ばかりで見づらいという意見もありますので、著作権フリーのイラストを使うことで今以上に見やすいレイアウトを心がけていきたいと思います。定期的なお知らせではなく、年間通じて流せれるようなVTRも作って、間に挟んでいけたらと考えています。

4月3日から実施したいと思っていますのでご理解いただきたいと思います。時間割については4月10日前後の区長文書で全戸配布したいと思っています。もう少しガラッと時間帯を変えようかという話もありましたが、高齢者の視聴者を配慮して視聴習慣が身についていると思いますので、極端な変更はしないこととしました。将来的には45分の1つの番組にしたいと思っていますが、当面の間は30分の1つの番組で週1回の更新でいきたいと思っています。

●レギュラー番組以外●

・春には桜マラソンの特集・夏は四万夢多さん・ドラゴンカヌーの特集や小中学校の音楽祭などの特別番組にも取り組んでいきたいと思っています。その中でも運動会・体育祭についてですが15分の番組を廃止し、長いものを何回か流す方向で進めています。2か月のレギュラー枠が運動会ばかりという意見もいただきましたので、1時間で流す分と15分で映像がかぶっているので、四万十うおっちゃんぐは別のものを流します。

閉会